

第7回南部圏域の地域包括を考える会（なんケアの会）を開催しました

開催日時：平成29年2月10日（金）18:00～19:15

会場：南部市民サービスセンター なんぴあ

参加人数：39名

メインテーマ：「パーキンソン病と上手に付き合うために」

サブテーマ：「パーキンソン病を理解するための勉強会」



平成29年2月10日（金）に、第7回となる「なんケアの会」を開催いたしました。豪雪の中、多数のご参加を頂き誠にありがとうございました。

今回からメインテーマを「パーキンソン病と上手に付き合うために」として、パーキンソン病の理解を深めることを目的に、3回に渡って開催して参ります。

今回、「パーキンソン病を理解するための勉強会」では、当院副院長の石黒英明医師から「パーキンソン病の非運動症状/認知症に関して」、外来看護師の加藤詩子氏から「パーキンソン病の生活上の支援と注意点」、通所リハビリテーション理学療法士の松永広枝氏から「パーキンソン病の転倒予防」について講演していただきました。

パーキンソン病の有病率は日本では1000人に一人と言われており、特定の神経系が変性、消失する神経変性疾患の中でもアルツハイマー病の次に多い疾患とされ、秋田県でも年々増加しているそうです。勉強会は、パーキンソン病の精神症状や、パーキンソン治療薬服薬時の注意点、便秘や嚥下障害に対しての食事のポイント、転倒予防など、パーキンソン病の方の支援に必要な基礎知識が詰まった内容でした。

パーキンソン病は、日常生活での工夫で生活が楽になるとともに、進行を遅らせることが可能であり、私達支援者が正しい知識を持って患者さんや御家族の方へ適切なアドバイスをしていくことが大切であると痛感しました。

次回はパーキンソン病の方の事例検討を予定しています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。今後も引き続き、医療、介護、福祉、行政関係者の皆様との連携を深められるよう取り組んで参りますので、今後ともご指導ご支援頂きますようお願い致します。

会場の様子



参加者の皆様からの声

あらためてパーキンソン病をくわしく知ることができました。ありがとうございます。リハビリがとても具体的でわかりやすかった。なる程と思ったことがいろいろありました。利用者さんに伝えて、リハビリを続けてもらいたいと思います。

(介護支援事業所関係者)

実際にあった例もまじえてお話しされていたのでとてもわかりやすく、ためになりました。とてもおもしろかったです。(医療機関関係者)

担当している方の病気についてだったので興味がありました。ありがとうございます。

(地域包括支援センター)